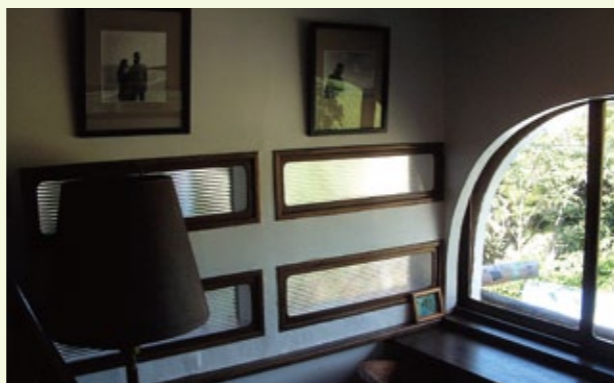


① KTR木津温泉駅



木津温泉は奈良時代の僧、行基が疫病を治すために発見したとされる温泉で、かつては府内唯一の天然温泉でした。泉質は低張性・弱アルカリ性の単純温泉で、泉温は約40℃です。KTR木津温泉駅では足湯が楽しめます。

② 丹後の湯宿えびすや



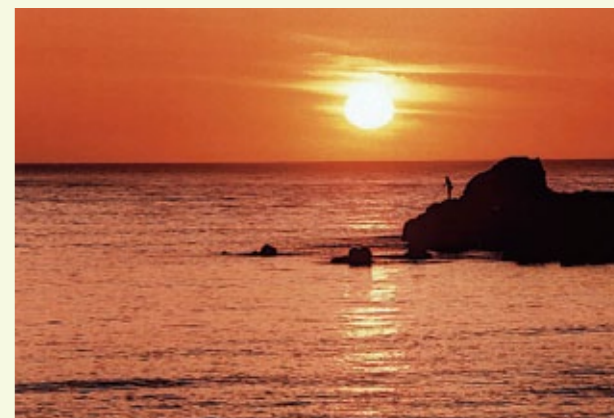
大正の面影を残すノスタルジックな雰囲気のあるえびすや大正館は、昭和4年に建てられたものです。この宿は、作家松本清張が「Dの複合」を執筆中に滞在した宿としても知られています。（※館内見学は宿泊者のみ可）

③ 京丹後市立網野郷土資料館



丹後は古くから織物産業が盛んで、網野郷土資料館では織物・養蚕関係の資料を展示しています。館内には、そのほかにも多くの民俗資料・考古資料が保存・展示されています。
*開館日：火・土・日曜日

④ 夕日ヶ浦



夕日ヶ浦は「日本の夕陽百選」にも選ばれています。夏場の夕方には夕陽が海を赤く染め上げ、浜詰海岸東側の岩場は、絶好の撮影スポットになっています。

⑤ 浜詰海岸



浜詰海岸から西へ小天橋まで続く浜は約6kmに及び、北近畿最大のロングビーチです。夏には多くの海水浴客や、キスなどの投げ釣り客が訪れます。また、サーファーにも人気があり、1年を通して楽しまれています。

⑥ 浜詰遺跡



浜詰遺跡は縄文時代から古墳時代にかけての集落跡が残された複合遺跡です。昔の人々は中位段丘の高台に居を構え、集落を形成し、魚や貝類を捕る等して生活を営んでいました。

⑦ 砂丘農園



浜詰から久美浜にかけて海岸線沿いに広がる砂丘は、スイカやメロン・サツマイモなどの栽培が盛んです。砂丘独特の水はけの良い土壌で育った作物は、どれも甘さがバツグン！

番外：塩江海岸～五色浜園地

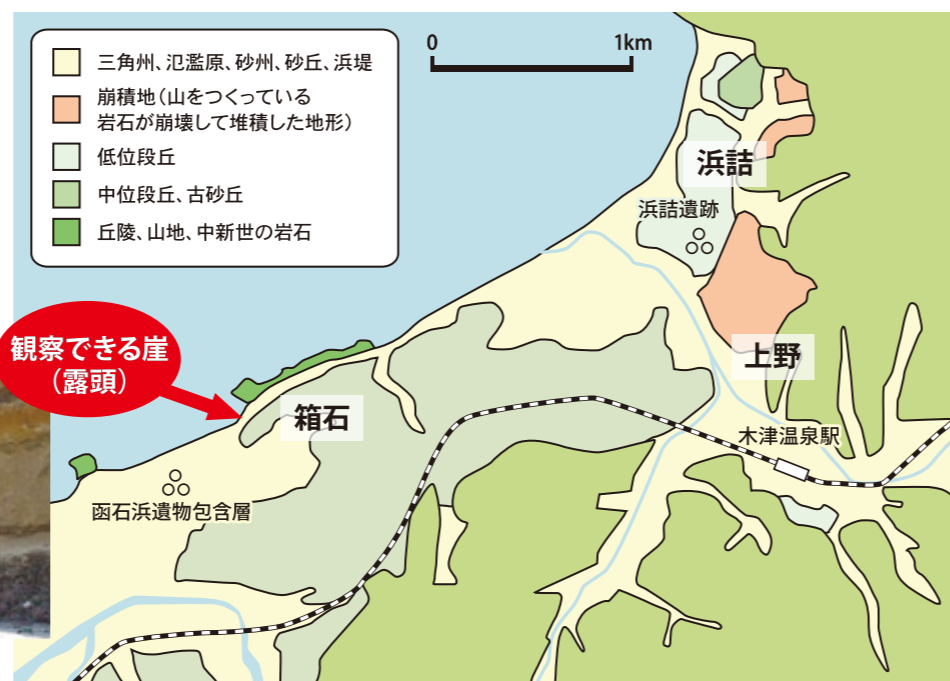


岩場の入り組んだ海岸に歩道が整備されています。五色浜園地の前には波によって削られ平らになった波食棚が広がっており、海が穏やかな春～夏にかけては磯遊びをすることができます。

ジオコラム①

夕日ヶ浦付近の段丘と砂丘

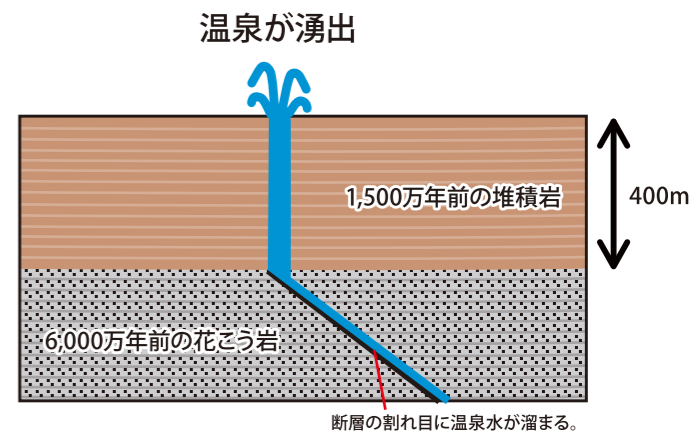
浜詰・上野の西方、木津川から箱石にかけて、標高20m前後の台地が広がっています。約13万年前の最終間氷期とよばれる温暖な時期に海面が上昇し、海浜の砂層が広く堆積しました、その地層が中位段丘を作っていて、その上に古砂丘の砂層をのせているところがあります。もちろん新砂丘の砂はその上にも、低いところにもあります。その台地の東部に、砂丘農園が広がっています。それらを観察できる崖（露頭）は箱石の西の海に面した北向きの崖です。水平に堆積した粗粒砂の崖で、上の方に古砂丘砂が乗り、その上に大山から飛来した火山灰（約5万年前）や鹿児島から飛んできた薄い火山灰（約2.6万年前）がのって、白っぽい色のさらさらの新砂丘砂は、その上に乗っています。



ジオコラム②

木津温泉

京丹後市木津温泉付近の地下には約6,000万年前にできた花こう岩があり、その上に約1,500万年前の海の底に堆積した堆積岩があります。海岸の浜詰付近ではその上に砂丘が堆積しています。ボーリング調査の結果から、木津温泉付近では地下約400mに花こう岩が見られ、その上部の断層でできた割れ目に泉脈が確認されています。この泉脈から得られ、地表近くに湧出しているのが木津温泉の泉源と考えられます。



クイズの答え

KTR木津温泉駅にはホーム横に、源泉掛け流しの足湯「しらすぎの湯」があります。源泉の温度が低く、湯の温度は30℃くらいなので、夏場の散歩後の休憩にもぴったりです。